

コロンビア月例報告（8月分）

外交・内政状況

2015年9月

在コロンビア日本国大使館

E-mail : info@ba.mofa.go.jp

I 概要

【内政】

- 13日 モンテアレグレ検事総長による権力均衡法に対する違憲審査請求
- 18日 クンディナマルカ県知事の辞任

【外交】

- 3日 サントス大統領及びオルギン外相による外交政策演説
- 13日 和平交渉紛争終結問題小委員会への国連事務総長代表の任命
- 21日 オルギン外相の第7回FEALAC外相会合出席（於：コスタリカ）
- 21～25日 アルマグロOAS事務局長の当国訪問
- 25日 アニファ・アマン・マレーシア外相の当国訪問
- 23～26日 ディディエ・レンデルス・ベルギー副首相兼外務欧州問題相の当国訪問
- 19日～ ベネズエラによる国境閉鎖問題

II 本文

【内政】

1 権力均衡法に対する違憲審査請求

13日、モンテアレグレ検事総長は、権力均衡法に関し、三権の均衡を崩して行政権を強化し、司法権を弱体化するものであるとして、憲法裁判所に同法の違憲審査請求を提出した（注：同法に対する他の違憲審査請求と併せて審査されることとなる）。

2 クンディナマルカ県知事の辞任

18日、アルバロ・クルス・クンディナマルカ県知事が辞任した。同知事には（自身が知事就任前に代表を務めていた）親族の会社が複数のボゴタ市議会議員に公共工事受注の見返りに賄賂を払っていた疑いがもたれていた。

3 FARCとの和平交渉：紛争縮減の状況

16日、ティモチエンコFARC最高司令官は、政府は空爆停止措置期間であるにもかかわらず空爆を継続しているとして非難した。

19日、FARCはFARCによる一方的停戦を危機に晒すような軍事行動が国軍により実施されているとして非難する声明を発出した。

20日、ビジェガス国防相はFARCによる一方的停戦宣言後一か月の状況報告をし、

軍人2名及びゲリラ4名の計6名が死亡したのみであり、過去40年間で最低の戦闘水準であった旨述べた。

【外交】

1 サントス大統領及びオルギン外相による外交政策演説

3日、サントス大統領及びオルギン外相が、第2次政権発足（注：2014年8月7日）1年を迎えるにあたり、外交政策に関する演説を実施し、以下の内容を述べた。

（1）サントス大統領

隣国との関係及び国家イメージは大きく改善した。これまでに13カ国のビザ免除を実現し、本年末までにはEUを含め免除国が43カ国になる。国際機関における選挙に注力した結果、コロンビア人が要職に就いている。

（2）オルギン外相

2010年からの500以上のプロジェクトにより隣国との融合及び国境地域の発展を促進してきた。2011年11月から少年兵リクルート防止のための文化・スポーツ外交を実施している。21の市町村にレクリエーション・ハウス（Casa ludica）を建設し、およそ11,500名の青少年が裨益した。和平後支援のため農業分野に係る教育、奨学金、学生交流、農業科学技術関連の170件のプロジェクトを実施する。

2 和平交渉紛争終結問題小委員会への国連事務総長代表の任命

13日、国連事務総長は、Jean Arnault 平和活動ハイレベル独立パネル・メンバー（フランス国籍）をFARCとの和平交渉における紛争終結問題小委員会への国連事務総長代表に任命した。

3 オルギン外相の第7回FEALAC外相会合出席（於：コスタリカ）

21日、オルギン外相はコスタリカで開催された第7回FEALAC外相会合に出席し、コスタリカ、ブルネイ、パナマ、ミャンマー及びベネズエラの各外相等と会談した。

4 アルマグロOAS事務局長の当国訪問

21～25日、アルマグロOAS事務局長が当国を訪問し、サントス大統領、オルギン外相及びレジェス法相等と会談し、FARCとの和平交渉に対する支持を表明した。

5 アニファ・アマン・マレーシア外相の当国訪問

25日、アニファ・アマン・マレーシア外相が当国を公式訪問し、オルギン外相及びイラゴリ農業・地方開発相と会談し、防疫、投資、教育、文化、地方問題等に関して協議した。オルギン外相主催の夕食会も開催され、両国のパーム油産業関係者も参加した。

6 ディディエ・レンデルス・ベルギー副首相兼外務欧州問題相の当国訪問

23～26日、ディディエ・レンデルス・ベルギー副首相兼外務欧州問題相が当国を訪問した。最初にカルタヘナを訪問し、カルタヘナ港湾会社及びコロンビア海軍との会合を実施し、その後25日、オルギン外相と会談した。外相会談においては和平交渉を中心に協議したほか、両国間の外交・領事団の家族による営利的性格の活動の遂行に関する協定に署名した。

7 ベネズエラによる国境閉鎖問題

(1) コロンビア人密売人によるベネズエラ兵襲撃

19日、コロンビア人密売人の襲撃によりベネズエラ兵3名が負傷したことを受け、ベネズエラが同国タチラ県と当国ノルテ・デ・サントアンデール県との国境を閉鎖した上で、ベネズエラ領内の不法滞在コロンビア人を大量に強制送還した。

(2) ベネズエラによる非常事態宣言発出

21日、マドゥーロ大統領は当該国境のあるタチラ県内の5市町村に60日間の非常事態宣言(Estado de Excepcion)を発出するとともに国境閉鎖を無期限延長した。

(3) コロンビア外務省声明

23日、強制送還されたコロンビア人の子供37名が取り残されているとして、人道的観点からの非難がコロンビアにおいて高まり、コロンビア外務省はコロンビア人の一体性及び人権を尊重するよう要請する声明を発出した。

(4) 外相会談

26日、オルギン外相とロドリゲス・ベネズエラ外相がコロンビアのカルタヘナにおいて会談した(クリスト内務相及びビジェガス国防相同席)。コロンビア側の要請にもかかわらず、ベネズエラは国境閉鎖を継続することとなったが、強制送還方法については両国の人権擁護官が協議することで合意した。

(5) 駐ベネズエラ・コロンビア大使の本国召喚

27日、サントス大統領は、本件に関して協議するため、リカルド・ロサノ駐ベネズエラ・コロンビア大使を本国に呼び戻した。

(6) OAS 常任理事会特別会合

31日、米州機構(OAS)は常任理事会特別会合を開催し、コロンビア・ベネズエラ国境地帯における紛争に関し、コロンビアの提案による外相会合開催について評決し、僅差で外相会合開催を見送った。

(了)